

原子力災害時における住民避難支援に向けた 福祉車両の配備と要員の確保について



2020年 7月 21日
東京電力ホールディングス株式会社

1. 内閣府からのご要請と事業者の対応について

- 第8回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会(2019年9月11日開催)にて、事業者としてできる最大限の協力をさせていただく旨の表明後、内閣府より福祉車両の配備について具体的な要請を2020年4月28日に受けました。今回、その対応について報告します。

①内閣府からの要請内容

●PAZ内社会福祉施設（22入所施設）における要配慮者避難に必要な福祉車両・要員の確保

- ・要配慮者218名(※)を搬送可能な避難支援車両の配備。
（※）車椅子利用者186名、ストレッチャー利用者32名
- ・各車両への運転手、介助者各1名の確保。



●弊社の対応計画

- ・要配慮者218名全員を搬送可能な車両数（31台）を配備。
※ 1台あたり車椅子6名、レイアウト変更によりストレッチャー2名乗車可能な福祉車両
- ・福祉車両31台は運行表を用いて避難支援要員(62名)が各施設の避難支援にあたる。
(参考資料参照)

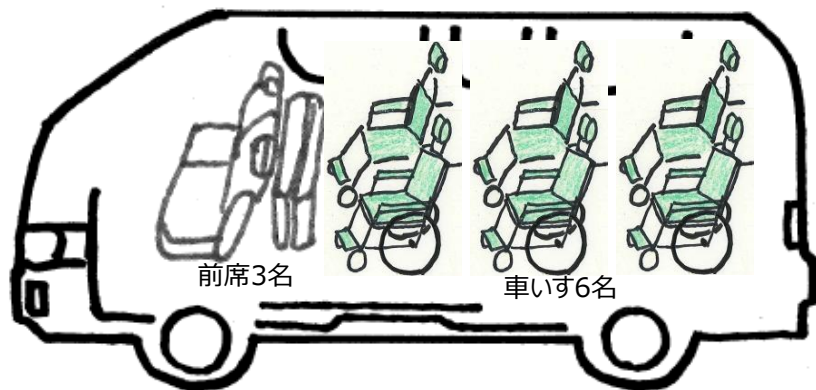
2. 配備予定の福祉車両仕様・台数

車種・仕様	配備台数 (台)	乗車構成(名)			
		搭乗パターン	車椅子	ストレッチャー	前席
日産 キャラバン ・スーパーロングボディ ・ワイド幅 ハイルーフ ・定員 10名 ・全長 5,230mm ・全幅 1,880mm ・全高 2,285mm	31台	車椅子 最大乗車 パターン	6	0	3
		ストレッチャー 最大乗車 パターン	2	2	3

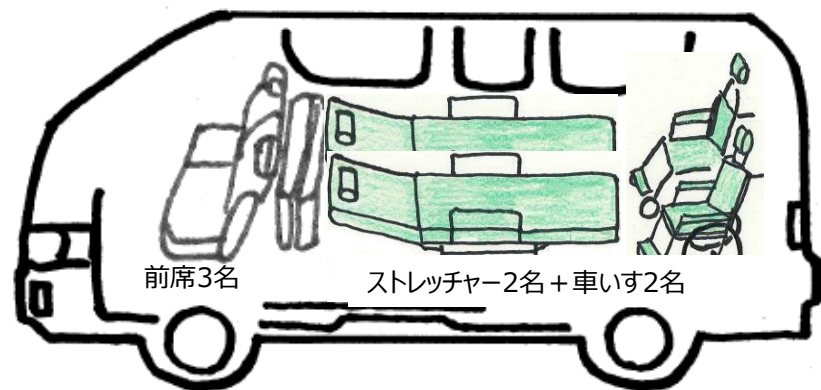


イメージ写真

■ 福祉車両イメージ



パターン1：車いす6名避難

パターン2：ストレッチャー2名
+車いす名避難

3. 令和2年度 新潟県原子力防災訓練への対応について

- 昨年に引き続き、開催が計画されている新潟県原子力防災訓練について、事業者としてできる最大限の準備を進めて参ります。

②「令和2年度 新潟県原子力防災訓練」への協力

- 県の原子力防災訓練については、「福祉車両を活用した避難支援訓練」や「スクリーニング訓練」や「県災害対策本部における訓練」などに参加させていただくことで協力させていただきたい。
- 今後も県の原子力防災訓練も視野にいたした社内訓練を繰り返し実施し、適切な避難支援ができるよう準備を進めて参ります。

<介護技術講習>



<福祉車両訓練>



<スクリーニング訓練>



<防護服着用訓練>



